

1月に向けて

代表取締役 三田雅憲

2020年も残り数日となりました。

まさか、創業50周年を向かえた祝いの年に当社の創業者であり、私たちの親父であった会長が天国にってしまうとは露とも思いませんでした。

又、私自身も心筋梗塞で倒れてしまい社員諸君には本当に心配をかけた一年となりました。その後、新型コロナウイルスの世界的な流行で東京オリンピックが延期になり、緊急事態宣言が出されて一部はリモートワークという新しい働き方が世の中に出てきて、会社のあり方や働き方が問われるような事態も生じてきています。外出や三密を避けるということやクルーズ船で新型コロナのクラスターが発生したことから外食産業やホテル、旅館、空港、鉄道バス等の輸送産業、そこに食事を用意している食品産業やレジャー産業にも大きな影響が出ております。お客様主催の新年の賀詞交換会などは、軒並み中止となりました。誰がこんな状態になることを予想したのでしょうか？しかし、現実問題として新型コロナの問題に直面して会社としても考えるところは多々ありました。ウイルスが何かを知らせているのかもしれませんが。当たり前がやれたことが当たり前でなくなり、又家で過ごすことが増えることで家族を思いやるが増えたと思います。何事も当たり前ではないということを感じざるを得ないと思います。

又、2020年度は新しい仲間が増えた年でもありました。全員が中途での採用でしたが前職で色々な思いや失敗など経験を積んだ上で入社してくれており、今度は私も光栄プロテックで自己実現を果たしてもらいたく思っております。

私自身、昨年終わりに身体を壊して、それ以降工場現場には基本的に入らなくなりましたが、各工場では班長が中心となって若手に指導や助言することが多くなっており、良い形になってきていると感じます。教えることで教えられることが多いですから又、若手もメモをとったり果敢にチャレンジする人も多く良い流れになっていると思います。ただ、技術は一朝一夕になりませんので地道に頑張っておきたいと思います。

2021年は新型コロナが無くなり、東京オリンピックが無事に開催されて日本人選手の活躍を期待し、楽しくおらかな年になることを期待すると同時にお客様からより一層、期待し仕事依頼の絶えない会社になるように心から願っております。又、2021年夏までには新しい工場が千葉に完成すると思います。「関東でも光栄プロテック有り」と言ってもらえるように千葉の諸君は頑張ってください。関西は今以上に品質の高くレスポンスの高い会社としてより認知していただけるように頑張ります。

2021年が社員諸君又ご家族にとって良い年になるように心より祈っております。